

新型コロナウイルスワクチンの追加接種  
(3回目接種)に関する緊急要望

令和3年12月16日

千葉県市長会  
千葉県町村会

新型コロナウイルス感染症は、未だ我が国の国民生活に甚大な影響をもたらしている。

今夏の第5波では、デルタ株による急速な感染拡大によって、多くの地域において医療提供体制が危機的状況に陥るなど、感染症対策に係る様々な課題が改めて浮き彫りになった。

国においては、世界的に感染が広がっている新たな変異株「オミクロン株」への対応や、第6波を含めた次の感染拡大に備え、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進及び治療薬の確保等、各種対策の全体像を示すとしている。

我々市町村においても、地域医療提供体制の確保はもとより、発症予防及び重症化予防に資する新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）の円滑な実施に向け、全力で取り組む所存である。

しかしながら、追加接種のワクチンの供給見通しや開始時期、交差接種に関する情報等が不透明な状況にあり、ワクチン接種を進める現場の市町村では、困惑していると言わざるを得ない。

については、我々市町村が追加接種を円滑に進めるため、次の事項について早急に措置されるよう要望する。

## 記

- 1 国民への追加接種に当たっては、国のファイザー社及びモデルナ社ワクチンの在庫状況や確実な供給見通しを早期に自治体及び国民に明らかにし、自治体の実状に応じ円滑に接種ができるようにすること。また、追加接種を希望する国民が必ず接種を受けられるように、国が責任をもって必要量を調達すること。

2 新型コロナワクチン接種に係る交接種を含めた追加接種における有効性・安全性の説明を十分且つ明確に行い、自治体での混乱回避に努めること。

また、今後予定されている5歳から12歳未満の子どもへのワクチン接種についても、自治体への逐次速やかな情報提供を行うとともに、国民への丁寧な説明を行うこと。

なお、ファイザー社ワクチンの有効期限延長に伴い、被接種者用の接種済証に貼用するワクチンシールに記載されている有効期限について、国民へ適切な情報提供を行うこと。

3 追加接種間隔の前倒しについて、開始時期、対象者等、詳細な事務の流れを早急に自治体に通知し、自治体及び国民が混乱しないよう対応すること。

4 国において防衛省・自衛隊で行った大規模接種センターと同規模以上の接種会場を設置し、2回目接種完了からの接種間隔到達者の受け皿を広く用意すること。

令和3年12月16日

千葉県市長会長 流山市長 井崎 義治

千葉県町村会長 東庄町長 岩田 利雄